
取り外しパネル
取り付け説明書 Ver1



 株式会社 富士商会
台東区台東4丁目30番7号
☎ 03(3831)4186

1 開口枠(チャンネル)の取り付け

- 1-1 開口枠(チャンネル)を、同梱のネジで壁パネルの開口部に取り付けます。(図1-1参照)
(弊社手配のアルミ若しくは樹脂製開口枠で、血穴加工済みの場合は、皿ドリルネジM4X16が同梱されています。)

※この際、レーザー墨出し器等を使用して、開口枠の水平、垂直を確認してください。(図1-2参照)

※開口枠はアルミ製、樹脂製、金属製の曲げ物枠等現場によって仕様が異なります。弊社別途手配の場合もあります。承認図をご確認の上、適切な取り付けネジ、取り付け方法をご選択ください。

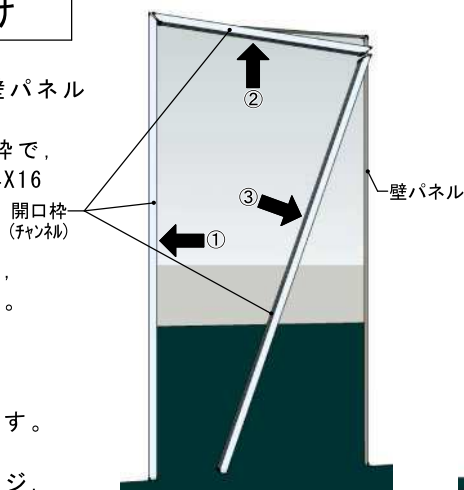


図1-1

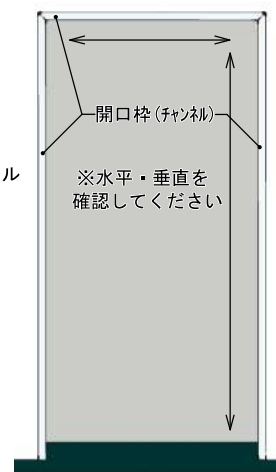


図1-2

2 パネル外枠の設置

- 2-1 パネル外枠の上枠(下枠)端部のLアングルに取り付けられているネジ(通常は皿ドリルネジM4X16)を一旦外し、上記Lアングルをたて枠端部に差し込み、外したネジで固定します。(図2-1参照)

※この際、端部の留め加工部分が合うように、固定してください。

- 2-2 組み上がったパネル外枠を開口枠(チャンネル)内に嵌め込み、四方枠の場合には、下枠の床面への取り付け穴の位置に印をして、一旦パネル外枠を外します。(三方枠の場合には外す必要はありません。)(図2-2参照)

- 2-3 四方枠の場合には、上記床面への取り付け穴の印の部分に8φ(深さ45mm以上)で下穴を開け、穴内の粉塵を取り除いた後、同梱のカールプラグ8X45を打ち込みます。(図2-3参照)

- 2-4 パネル外枠を開口枠に嵌め込み同梱の皿ネジにて固定します。(上枠とたて枠を開口枠に取り付ける場合、アルミ製の開口枠用には皿ドリルネジ(M4X50)、樹脂製の枠用には皿タッピングネジ(M4X50)がそれぞれ同梱されています。)(図2-4,5参照)

- 2-5 四方枠の下枠は床取り付けネジ(皿タッピング4X50)で、先に埋設したカールプラグに固定します。(図2-3,5参照)

※開口枠・床面の仕様によっては上記のビス等が適当ではない場合がありますので、現場に合わせ適切な取り付けビスをご使用ください。

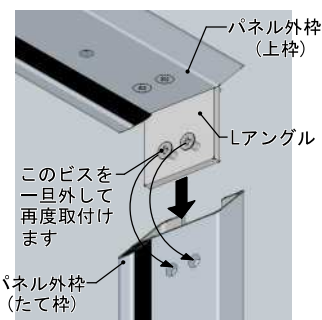


図2-1

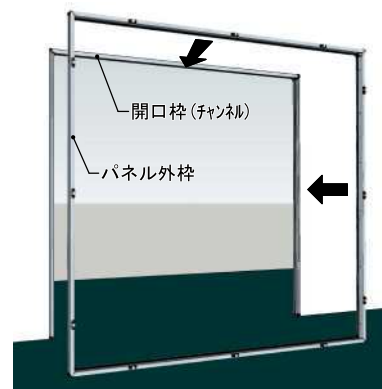


図2-2

※上図は四方枠

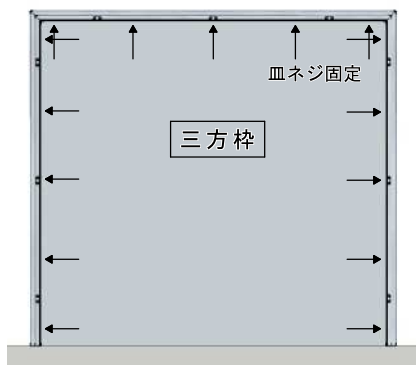


図2-4

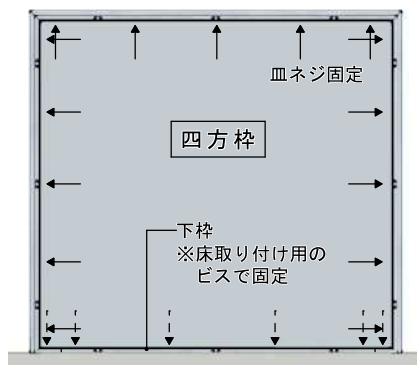


図2-5

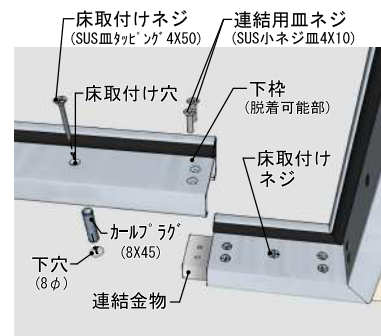


図2-3

※下枠を外した状態

3 パネルの取り付け・調整

※パネルの枚数に関わらず一番右側のパネルが親パネルとなります。



図3-1 四方枠タイプ

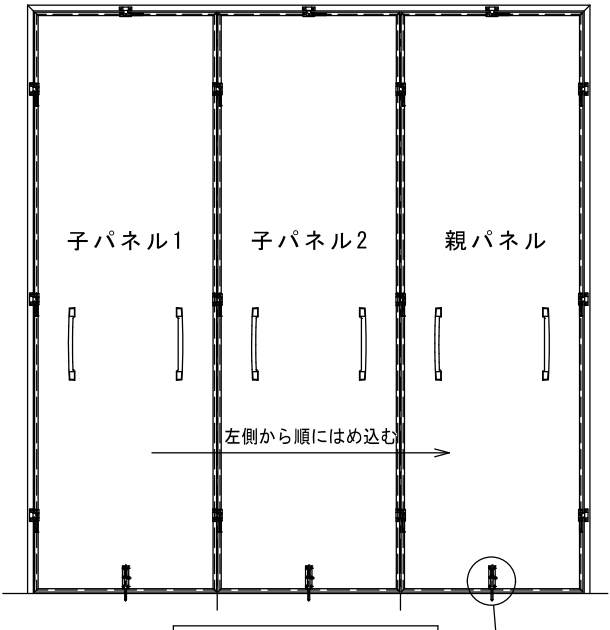
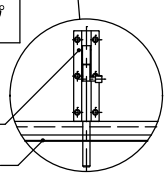
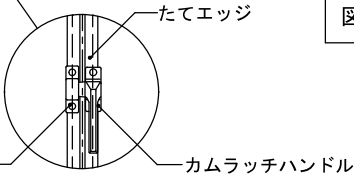


図3-2 三方枠タイプ



3-1 ハンドル側からみて一番左側の子パネルから右側に向かって順番に取り付けます。(パネルには通常左から順番に番号を振った紙が貼られています。)
(図3-1, 2, 3参照)

※一番右側が親パネルとなります。
親パネル:パネルの左右たてエッジにカムラッチハンドル
子パネル:パネルの左たてエッジにカムラッチハンドル
右たてエッジにカムラッチ受け

※取り付け際にはカムラッチハンドルがパネルエッジに対して直角になっていることを確認し、枠に嵌め込んだ後にカムラッチハンドルを回して、カムラッチ受けにハンドルがかかるようにします。
(図3-3, 4参照)

※たて枠とパネルエッジ及びパネルエッジ同士の隙間が約5mmで均等になるように取り付けてください。

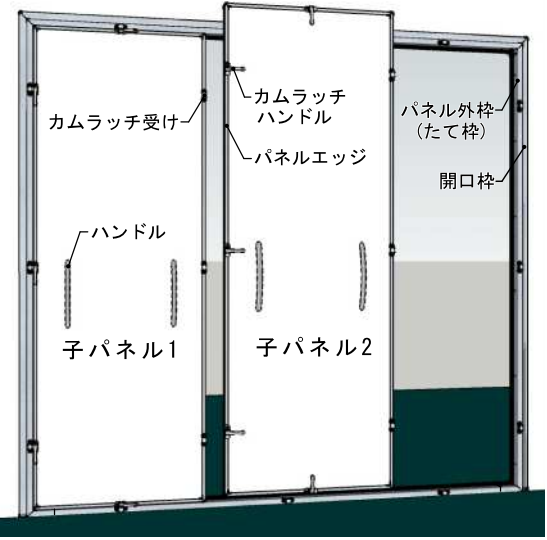


図3-3 ※上図は四方枠

3-2 カムラッチの締め付けが弱い場合には、カムラッチハンドルの取り付けネジを緩め、パネルエッジとの間にライナーを挿入して調整してください。また締め付けが強すぎる場合には、工場であらかじめ挿入されているライナーを外してください。(ネジを完全に外さなくても、緩めるだけで抜き差し可能です。)
(図3-5参照)

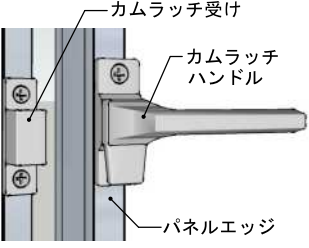


図3-4

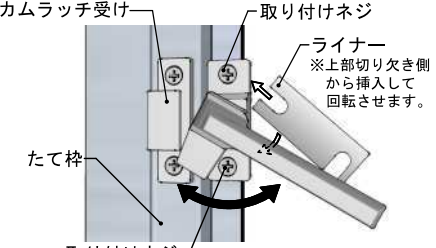


図3-5

◆三方枠の場合

4 床付け受け坪の設置

4-1 取り外しパネルを枠に取り付けた状態で、角落シのロッド棒を下げ床面にロッド棒が当たる位置を確認し、その位置に14.5φ、深さ29mm以上の穴加工をします。(図3-2参照)

4-2 穴内の粉塵を取り除いてからカバーと受け坪を挿入します。(図4-1参照)

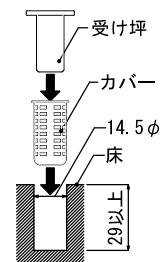


図4-1

5 仕上げと確認

5-1 必要に応じて、開口枠と壁パネル、開口枠とパネル外枠の隙間に、コーキングで仕上げを行います。(図5-1参照)

5-2 枠やパネルの表面材に貼られている養生フィルムをはがします。

※パネルの表面材に貼られている養生フィルムで、エッジ(仕様によっては窓枠)に挟みこまれているタイプのものは、それぞれの境目に慎重にカッターナイフの刃を入れて、養生フィルムを切断し、はがしてください。

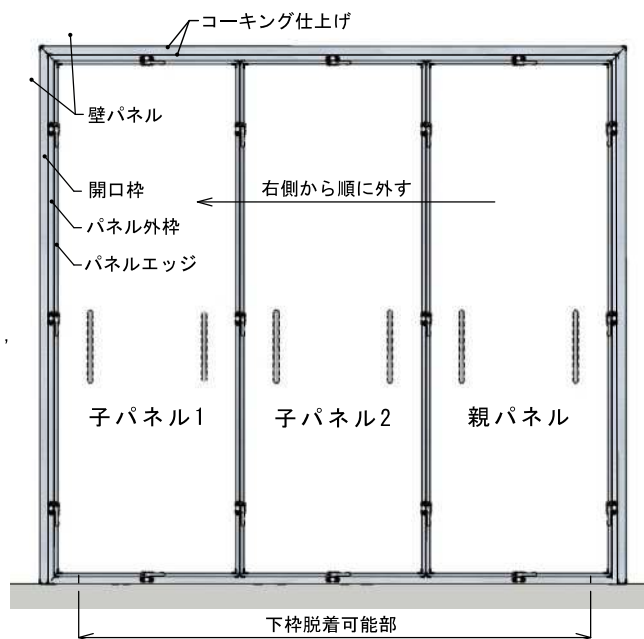


図5-1

※上図は四方枠下枠取り外し仕様

◆四方枠で下枠取り外し可の場合

6 下枠取り外し手順

6-1 パネルを外す場合には、手順3のパネルの取り付けとは逆の手順で、一番右側の親パネルから左側に向かって順番に外します。(図5-1参照)

6-2 下枠の脱着可能部を外す場合には、脱着可能部上面のネジのみ全て外してください。(図5-1, 6-1参照) この際外したネジは、失くさないように保管してください。

※脱着可能部を外しても「連結金物」は外さず残してください。また、カールプラグもそのままにしてください。(図6-2参照)

6-3 再度、脱着可能部を取り付ける際には、外したネジを元通り締め付けてください。またパネルを再度取り付ける際には、外す前と同じ位置に取り付けてください。

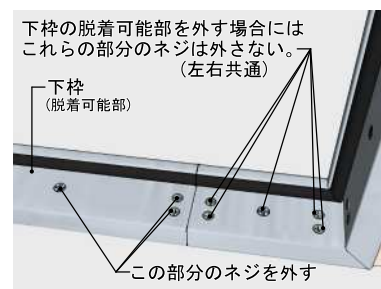


図6-1

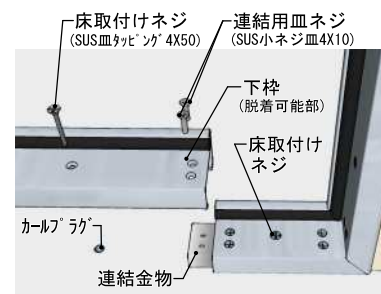


図6-2

※下枠を外した状態

⚠ ご使用上の注意

- ・ハンドルにぶら下がったり、足場にしたり、ものを掛けたりしないでください。思わぬ事故につながる危険性があります。
- ・パネルの取り付け、取り外しは、周囲の人・物の位置を確認しながら慎重に行ってください。その際、指や足をパネルと枠の間に挟まないように十分注意してください。また取り付け、取り外し作業は無理に一人でやらず、パネルのサイズに合わせて十分な人数で行ってください。
- ・取り外したパネルを仮置きする場合は、転倒しないよう置き場所や床の材質等にご留意ください。
- ・高所作業を行う際にはヘルメット、安全ベルト、足場等の必要な安全対策がなされていることをご確認ください。
- ・ハンドルやカムラッチのネジが緩んでいないか定期的に点検し、必要な場合には締め直してください。
- ・長期間、清掃しないままですと、表面に付着した汚れがシミや腐食の原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。特に塩分や薬品類の汚れは速やかに清掃してください。